

アクティビティ「『頼りになりそう』を探してみよう」

■ このアクティビティのねらい

子どもが相談できる公的な相談窓口や専門団体をオンラインで検索し見つける練習を、実際に手を動かしながら行います。

また、困ったときは「助けて」と言ってもいいということや、権利は法律や制度などの「仕組み」によって守られていることを学びます。

■ おすすめの授業科目：LHR（学級活動）、社会、保健体育

■ 所要時間：約 45 分

■ 準備するもの：

- 先生・ファシリテーターのタブレットやパソコンの画面をプロジェクターにつないでください。
生徒や参加者も、各自のタブレットやパソコンを手元に準備します。
- 開始前に、グループワークがしやすいよう、1 グループ 4・5 名のグループ分けや机の移動などを行ってください。
- ワークシート：タブレットやパソコン上で書き込むことができます。
紙で記入する場合は、人数分印刷し、配布してください。
- 子どもの権利条約 条文一覧：タブレットやパソコン上で見るすることができます。
紙で確認する場合は、人数分印刷し、配布してください。
- 授業やワークショップ後、参加者にアンケートを行う場合は、事後アンケートもご準備ください。

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
【はじめに】 (3分) スライド1～3 タブレットやパソコンで全員がページにアクセスします。画面上の「アクティビティ」タブのスライドを使用し、アクティビティの概要・ねらい、「今日の約束」について説明します。	●スライド1（表紙） 今日は社会の中にある、あなたにとって「頼りになりそう」な相談先を実際に調べてみるアクティビティを試みましょう。	一斉	●このアクティビティでは、1人では抱えきれない困りごとについて、頼れる相談先を見つける練習を、実際に手を動かしながら行います。また、困ったときは「助けて」と言ってもいいということを、アクティビティを通して学びます。 このアクティビティでは、インターネットで検索を行います。なるべく事前に「情報モラル」について学習してから取り組みましょう。 「情報モラル教育」（文科省）についてはこちらをご参照ください。教員向け・子	

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	<p>●スライド2 アクティビティを始める前に、みなさん一人ひとりが安心して参加できるように、「今日この場での約束」を確認したいと思います。(スライドの内容を読む)</p> <p>●今日のアクティビティでは、「ワークシート」を使用します。画面を少しスクロールし、「ワークシート」をそれぞれのパソコンにダウンロードし、書き込めるよう準備してください。(紙のワークシートを使用する場合は配布する)</p> <p>●スライド3 みなさんは、困った時に子どもが相談できる相談先を知っていますか？相談先のカードやポスターはどんなものを見たことがありますか？(子どもたちからの発言を待つ)</p> <p>ときには、自分1人では抱えきれない困りごともあると思います。そんな時、社会にはみなさんの力になってくれる人・場所もあります。今日は頼りになりそうな相談先と一緒に探してみましょう。</p>		<p>ども向けの教材などが紹介されています。 https://www.mext.go.jp/zyouka_tsu/moral/</p> <p>●「今日の約束」は、セーブ・ザ・チルドレンからの提案です。学級などで話し合っ て決めた約束ごとなどがあれば、そちらを応用することもできます。</p> <p>●「ワークシート」は、タブレットやパソコン上で書き込むことができます。紙で記入する場合は、人数分印刷し、配布してください。</p> <p>●実際に学校で配っている相談先のカードやポスターを用意し、こんなものがあつたね、と子どもたちと一緒に確認してみ るのも良いかもしれません。「相談先」とはど ういうものか、具体的なイメージを子ども たちは掴むことができます。</p>	

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
【アクティビティの流れを一緒に確認する】 (2分) スライド4	<p>●スライド4 このアクティビティの流れを一緒に確認しましょう。まずはこの後、「困ったこと」を1つ選びます。次に、困ったことの相談先を探すための検索ワードを考えます。そして、実際に検索して相談先を1つ選びます。</p> <p>困ったことは、この後のスライドから選んでもいいですし、自分で調べたいことを調べても大丈夫です。</p>	一斉	<p>●調べ学習のステップを最初に共有し、ゴールへの道筋を示します。</p> <p>困りごとの例や、検索ワードの作り方はこの後詳しく出てきますので、このスライド4では簡潔に「ステップは3つあること」を伝えます。</p>	調べもののステップを理解しているか
【「困ったこと」を選ぶ】 (5分) スライド5～9 「困ったこと」の例を示し、検索の練習に向けて1つ選ぶことを促します。	<p>●スライド5 それではまず、この後のスライドから「困ったこと」を1つ選んでみましょう。今日は相談先を見つける練習なので、自分が悩んでいることとは全く関係ない悩みごとを選んでみてもいいですよ。もちろん自分の困りごとに近いことを選んでも大丈夫です。それでは見ていきましょう。</p> <p>●スライド6 その1、学校のことです。学校に関する困ったことには例えば、人間関係や、部活、友達、勉強、進路、制服や教材費などがあるかもしれません。ここにのっているのは、困ったことの「例」なので、ここに書かれていない「困ったこと」があってもいいですよ。</p> <p>●スライド7</p>	個人	<p>●このアクティビティでは、選んだ困りごとや調べた相談先をグループ・全体で発表するステップがあります。「自分が今悩んでいることを調べる」という設定にしてしまうと、悩みごとを発表しているように見えてしまうため、「自分の悩み事に近いことを調べている人もいるかもしれないし、全く関係ないことを調べている人もいるかもしれない」ということを伝えましょう。</p> <p>●時間が許せば、3つの困ったことのカテゴリについて、参加者に「他にどんな困ったことが考えられるかな？」と聞いてみるのもよいでしょう。</p>	今日調べものに取り組む「困った」を1つ選ぶことができているか

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	<p>その２、家族や家のことです。例えば、暴力、プライバシーが守られないこと、人間関係、習い事が忙しすぎる、家族の世話が大変、十分なご飯がない、居場所がない、塾代などお金の困ったことなどがあるかもしれません。</p> <p>●スライド 8 その３、社会のことです。社会の中の自分、社会と自分とのつながりについての困りごとには、例えば、ジェンダー、性、見た目、差別、障害、外国ルーツであること、パワハラやセクハラなどのハラスメント、SNS のトラブル、人間関係の悩みなどがあるかもしれません。</p> <p>●スライド 9 この後相談先を調べるのですが、まずは今出てきた３つのカテゴリの中から１つ選び、ワークシートに番号を書きましょう。「〇〇で困っている A さん」という設定を自分で作ってみてもいいですよ。</p>		<p>● 具体的な検索ワードはこの後のステップで考えるので、ここではまず３つのカテゴリから「１つ選ぶ」ことを促します。</p>	
<p>【相談方法を考える】 (５分) スライド 10～11 多様な相談方法があることを知り、自分にとって相談しやすい方法を考えます。</p>	<p>●スライド 10 それでは「困ったことを話したい」相談先を探す前に、相談方法を考えてみましょう。</p> <p>●スライド 11 相談方法にはいろいろな種類があります。(スライドにある４つの相談方法を読む)</p>	個人	<p>● 安心して相談できる方法は人それぞれ異なり、困ったことの内容などにも応じて自分で選ぶことができることについて気づきを促します。</p>	<p>多様な相談方法から自分に合うものがあるか</p>

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	<p>自分は、この方法が相談しやすいと思うものがありましたか？相談内容によっても、チャットがいいかなとか、出来るだけ早く解決したいから対面でとにかく話したいな、など変わるかもしれませんね。さっき選んだ困ったことを自分が相談するのなら、どの方法がいいか少し考えてみましょう。</p> <p>また、次のステップに進む前にこのウェブページの一番下にある「困ったときの相談窓口」も見てください。具体的にどんな相談窓口・方法があるのかイメージをつかみやすいと思います。</p>		<p>●「こどものケンリ」ウェブサイトの下部にある「困ったときの相談窓口」には、様々な相談先が掲載されています。こちらを見ることで、「こういう相談先をこの後探す練習をするのだな」とイメージを持ちやすくなります。</p>	
<p>【検索ワードを考え、検索する】 (10分) スライド 12-13 検索ワードをいくつか考えて検索し、相談先を1つ見つけます。</p>	<p>●スライド 12 ここまで、困ったことを選び、自分に合う相談方法を考えましたね。それではオンラインで相談先を探してみましょう。</p> <p>●スライド 13 オンラインで相談先を探すためのヒントを一緒に確認しておきましょう。困ったことにピッタリの相談先を見つけるためには、検索ワードが重要です。 検索ワードには、「何について」「どのように」「だれが」相談したいのかを入れます。例えば、「何について」は困ったことの3つの中から、お金・進学と入れ、「どのように」にはチャットと入れます。さらに、「誰が」</p>	個人	<p>●スライド 1 にも入っていますが、このアクティビティでは、インターネットで検索を行うことを推奨しています。なるべく事前に「情報モラル」について学習してから取り組みましょう。 「情報モラル教育」（文科省）についてはこちらをご参照ください。教員向け・子ども向けの教材などが紹介されています。 https://www.mext.go.jp/zyouka_tsu/moral/</p>	<p>検索ワードを考えるとができ、相談先を1つ見つけることができるか</p>

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	<p>については子ども、または中学生や高校生などを入れてもいいですね。最後に相談、というワードも入れておきましょう。1つ1つの言葉の間に空白（スペース）を入れることも忘れないようにしましょう。</p> <p>検索すると様々な結果が出てきます。相談先の候補として、知恵袋やLINEのチャットなども出てくるかもしれませんが、みなさんにとって身近で頼りになる人たちがいるかもしれませんが、自分の個人情報をしっかり守ってくれるかはわかりません。今回は公的な相談窓口やNPO・NGOなどの専門団体を探してみましょう。</p> <p>それでは、検索ワードを考えてワークシートに書き、実際にオンライン検索してみましょう。</p>		<p>●相談先として、マッチングアプリや知恵袋、LINEチャットなどを候補に考える参加者がいるかもしれません。相談をする際の個人情報の扱いに関する注意喚起を、参加者の発達段階に応じて行う必要があります。</p> <p>掲示板やSNSは子どもたちにとって身近で1つの大切な居場所になっていることもありますが、今回は練習として公的な機関や専門的な団体を探してみようを促します。</p>	
<p>【グループ共有】 (5分) スライド14 調べたことをグループで共有します。</p>	<p>●スライド14 みなさん、頼りになりそうな相談先を1つ見つけられましたか？それでは今調べたことをグループで共有してみましょう。自分が選んだ「困ったこと」は何か、どんな検索ワードを使ったか、相談先としてどこを選んだか発表しましょう。</p> <p>また、探した相談先は、特に大切な4つの「子どもの権利」を守っているでしょうか？特に大切な4つ</p>	グループ	<p>●共有することで、同じ困りごとを選んでいても探した相談先が違ったり、異なる困りごとでも同じ相談先に相談できたりすることに気づいたりできるようにします。また、検索ワードの立て方を振り返れるよう、相談先だけでなく、「選んだ困ったこと」「検索ワード」も共有するよう促します。</p> <p>●グループごとに検索結果を共有するだけでなく、「相談先が子どもの権利（特に一般原則）を守っているか」についても</p>	個人ワークで調べたことをグループで共有できているか

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	の権利は、ワークシートに書かれていますので、探した相談先についてお互いにチェックしてみましょう。		話し合います。困ったとき、信頼できる相談先とつながるために、この視点を持つことが大切です。	
【全体共有】 (5分) スライド 15	●スライド 15 グループ共有お疲れさまでした。それでは、何グループかに代表して全体に向けて発表をしてもらいたいと思います。例えば、困ったことに対してどのような相談先を見つけたかや、個人・グループワークを通して気づいたことなどもあったら教えてください。	全体	●授業時間との兼ね合いを見ながら発表グループ数を調整します。	全体で「頼りになりそう」な相談先を共有できているか
【解説】 (5分) スライド 16-21 権利を守る「仕組み」について伝えます。	●スライド 16 みなさん、アクティビティへの参加お疲れさまでした。今日はみなさんが困ったときに頼りになりそうな相談先を探す練習をしました。困ったときというのは、みなさんが持っている「子どもの権利」が守られていないという状況かもしれません。権利を守る「仕組み」について少しお話をします。 ●スライド 17 まず、みなさんに覚えておいてほしいのは、自分 1 人では対応できない、どうしたらいいのかわからない「困った」とき、「助けて」「手伝って」と声をあげていいのだということです。困った状況になると、誰かに相談することも思いつかないくらい追い詰められてしまったり、相談することを遠慮してしまったりするかもしれません。でも、「助けて」と言っ	一斉	●教員・ファシリテーターによる「子どもの権利」解説を行います。 ●このアクティビティのねらいの 1 つである、困ったときには「助けて」と言っているのだということを、まず伝えます。	困ったときには助けてと言っていいのだということ・権利は法律や制度などの「仕組み」によって守られていることが理解できているか

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	<p>てよいのです。また、何に困っているのか上手く言葉にできなかったり、これからどうしたいのかが決まっていなかったりしても相談して大丈夫です。「頼りになりそう」な相談先と一緒に考えていくこともできるかもしれません。</p> <p>●スライド 18 人権・子どもの権利の基本をおさらいしましょう。子どもの権利は、18 歳までのすべての人に、どこでも・誰でも・いつでもあります。</p> <p>●スライド 19 人権・子どもの権利はどうやって守られていると思いますか？ みんなで、思いやりをもってお互いに関わることで守ろう、とされているのでしょうか。 そうではなく、人権・子どもの権利は国際条約などで法的に定められています。生まれ育った環境や人の思いやりといった気持ちなどの「偶然」に左右されないよう、社会の仕組みとして守られる必要があるのです。</p> <p>●スライド 20 では、権利を守るためにどのような仕組みがあるか見ていきましょう。例えば、国の法律、誰でも使える公的な制度、自治体・地域ごとの</p>		<p>●人権の原則を学習している場合には、子どもの権利も同様であること（人権にも子どもの権利にも、普遍性、無差別・平等性があること）を合わせて伝えることもできます。</p> <p>●「子どもの権利」は思いやりなどで守られているのではなく、条約などで法的に仕組みとして守られていることを伝えま</p> <p>す。</p> <p>●「子どもの権利を守る仕組み」と言っても、子どもたちにはイメージを持ちづらいかもしれません。参加者の学習状況に応じて、子どもの権利に関わる国内法や支援制度を紹介することもできます。</p>	

【概要】 (時間) スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	<p>取り組み、NPO・NGO など民間団体の活動があります。</p> <p>さっき調べた相談先も、法律に基づいて国や自治体で作った相談先だったり、NPO・NGO の支援の 1 つだったりするかもしれません。困っているとき、自分一人では対応できない、色々なことがあるかもしれません。でも 今日みなさんが調べてみて学んだように、「助けて」、「手伝って」と声をあげられる仕組みがあります。</p> <p>●スライド 21</p> <p>子どもの権利条約のなかでも、特に大切な 4 つの権利があると他のアクティビティで学びましたね（4 つの権利を読み、おさらいする）。この 4 つの権利は、子どもの権利を守るどの仕組みにおいても大切です。みなさんが今日探した相談先は、この 4 つの権利を守ってくれそうでしょうか。例えば、第 6 条は「生きる・育つ」権利ですが、心や身体の不調で悩んでいることを相談するために探した相談先は、心や身体の健康について確かな専門知識を持って相談に乗ってくれる、身に迫る暴力など様々な危険から守ってくれるようなところでしょうか。逆に、自分を危険にさらすよう</p>		<p>例えば、子どもの権利を守る福祉施策を進めるために、改正児童福祉法では、「市町村は、こども家庭センターの設置に努めなければならない」（第十条の二）としています。こども家庭センターでは、18 歳未満からの子どもの相談にのっています。</p> <p>このような子どもの権利に関わる法律や具体的な相談制度を紹介することで、より理解しやすくなるかもしれません。</p> <p>また、子どもの権利救済機関や子どもオンブズマン制度がある自治体であれば、その制度を具体的に紹介するのも良いでしょう。</p>	

【概要】 （時間） スライド番号 学習活動	声掛けの例	形態	指導上の観点・留意点	評価基準
	な相談相手ではないですか？ 信頼できる相談先を見つけるために、確認してみることも大切です。			
【振り返り】 （5 分） スライド 22	<p>●スライド 22 今日はみなさんと「頼りになりそう」な相談先を探してみました。困ったときには今日のように相談先を探すことができること、大前提として困ったら助けると言っていることを覚えておきましょう。また、頼りになりそうな相談先を探すとき、自分が安全に・安心して相談できる相手か、判断するための“ものさし”としても、「子どもの権利」を覚えておきましょう。</p> <p>最後に、今日みなさんは相談先を探す練習をしましたが、困っているときや焦っているときに相談先を自分で 1 から探すのは難しいこともあります。相談先を探すのに迷ったら、このウェブページの一番下に「困ったときの相談窓口」の一覧があることを思い出してくださいね。</p>	全体	<p>● アクティビティを振り返り、大切なポイントを改めて伝え、まとめます。</p> <p>● おまけ： 時間が許せばワークシート右下のワークも取り組んでみてください。 「子どもの権利条約条文一覧」を見て、相談先と関わりのありそうな「子どもの権利」が見つかったら書き出します。 探した相談先が、特にどの子どもの権利を守る取り組みをしているかを考えることで、「子どもの権利を守る活動をする相談先・仕組みがあること」について、さらに理解を深めます。</p>	